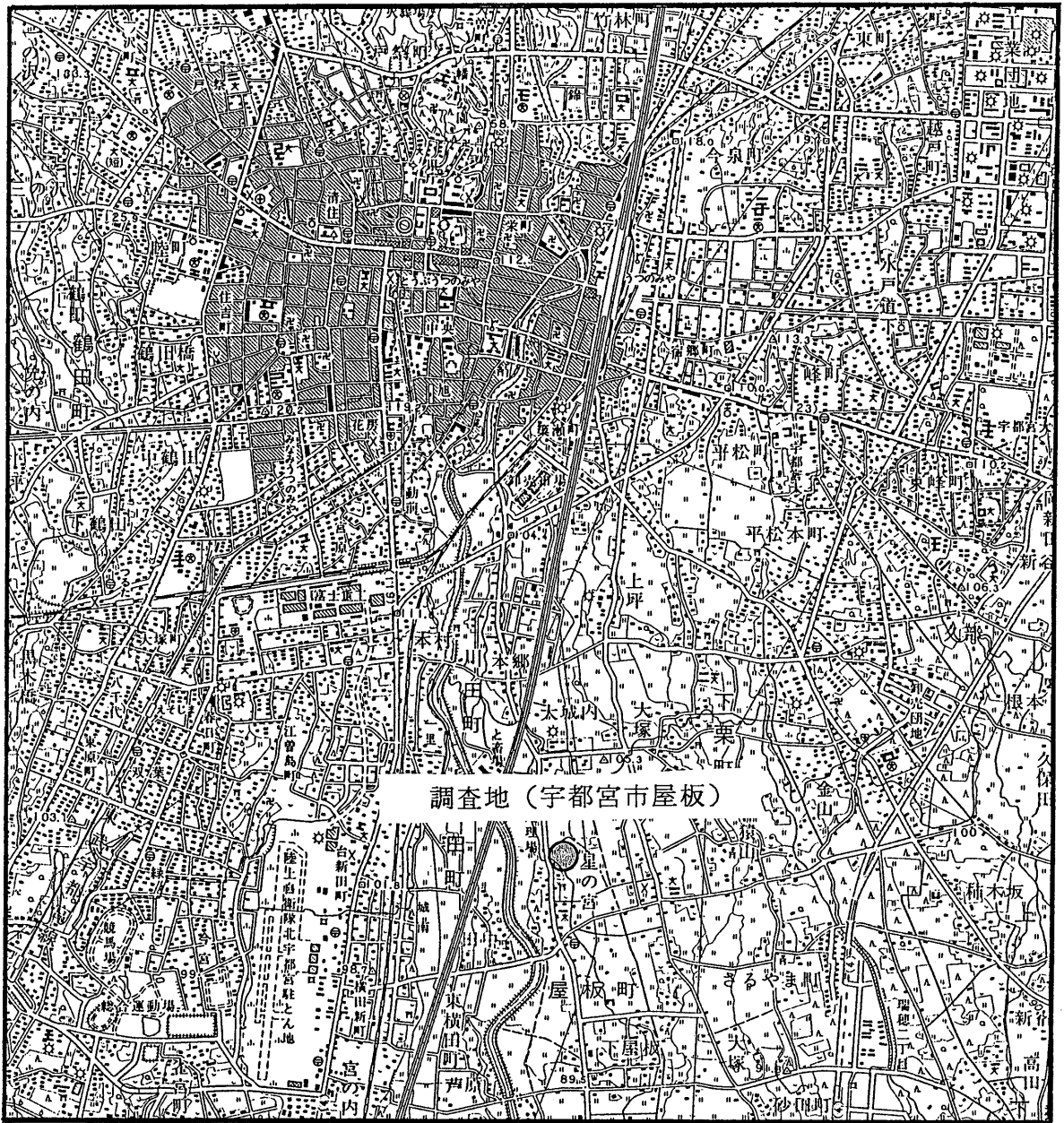


案内図

○：調査地

S = 1 : 50000



調査地（宇都宮市屋板）





# ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 宇都宮市弓道場建設工事に伴う地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	宇都宮市屋板地内				北緯			
発注機関					調査期間	平成 3年 1月15日 ~ 3年 1月17日			東経		
調査業者名	岡部 ボーリング 電話(0286(35)8701)		主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	-0.57m	角	180° 上	方	北 270° 西	地盤為配	使用機種	試験機	吉田 YBM 050	ハンマー 落下用具	コーンブリー
総掘進長	10.33m	度	90° 下	向	東 90° 南	水平	エンジン	ヤンマー F7		ポンプ	ピストン式

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	採取	室内試験	掘進	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数	N 値					
				盛土	暗茶灰	緩い		上部砕石、下部礫土及びローム等の混合土。	1.15	1	1	1	3				
				礫土	暗黒	軟らかい		含水比中位。全体に軟らかい。	1.45								
				ローム	茶灰	硬い		含水中位。礫物混入。上部、鉄分斑点状に点在する。全体に若干砂分帯びる。	2.15	2	3	8	13				
								上部からGL-5.10mまで暗灰色を呈する。	2.45	38	12	1	50				
								含水中位。礫径φ30~40mm前後を主体とする。	3.15	29	21	6	50				
								礫径φ90mm位の角礫を点在する。礫間は中~粗砂で充填される。	3.26								
				砂	暗灰	非常に密な		砂層所々薄く发育。	4.15	13	11	15	39				
								GL-5.10m下部、暗茶灰色を呈する。	4.31	27	17	6	50				
								礫径、φ30~40mm主体とする。	6.15	18	23	9	50				
								GL-6.50m付近より、粘性土斑点状に点在する。	6.39	21	20	9	50				
								全体に密に締まっている。	7.15	19	24	7	50				
									7.40	21	20	9	50				
									8.15	19	24	7	50				
									8.36	22	28	8	50				
									9.15	10.15							
									10.15	10.33							